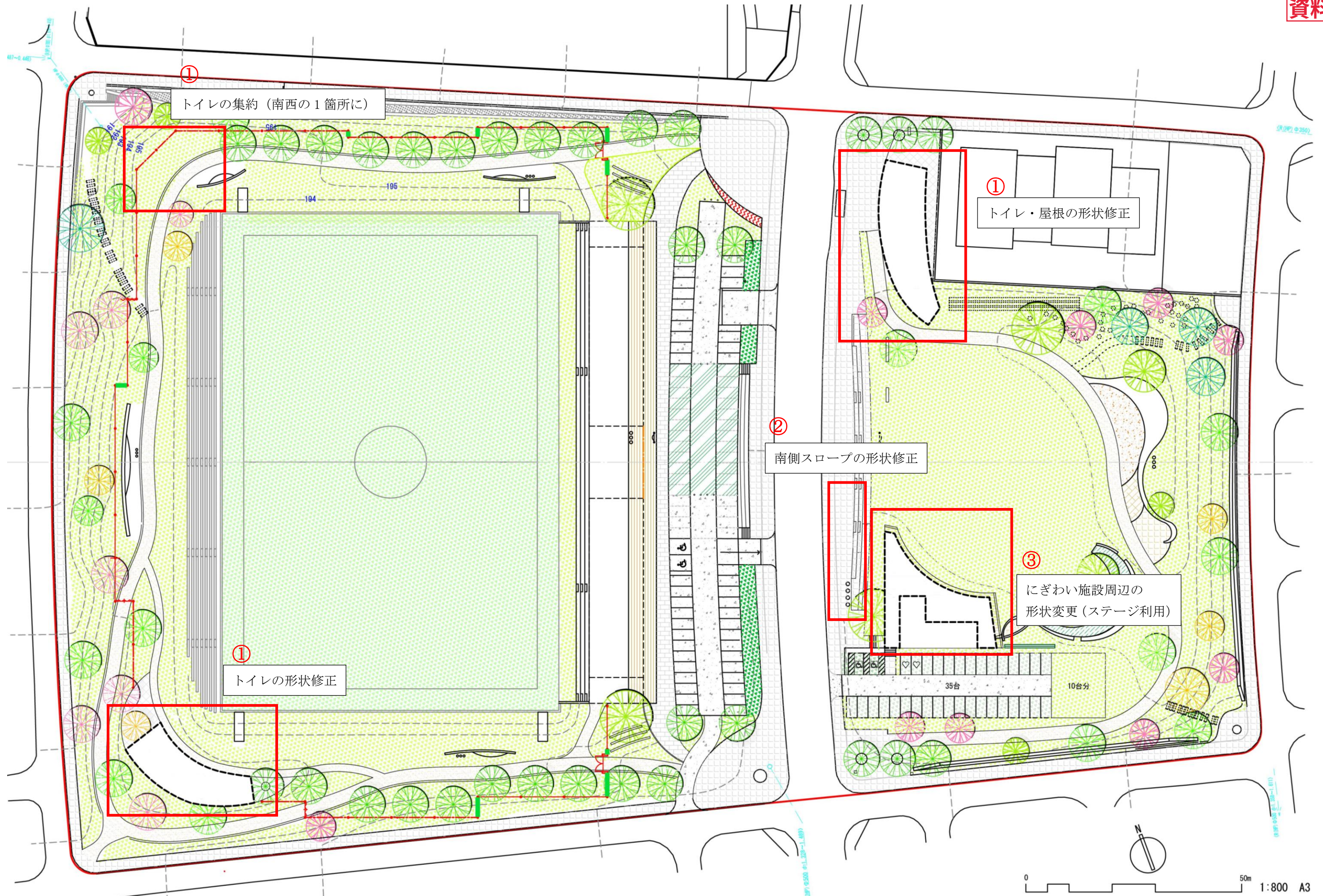


[illegible]



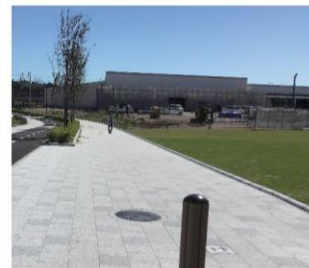
園路・広場舗装方針

- ・園路、広場はバリアフリーに配慮し、段差が最小限でかつ公園全体に 1/20 勾配でアクセスできる計画とする。
- ・園路舗装は、自由地形への追随性や植栽との調和を考慮し、自然色アスファルト舗装を基本とする。
- ・建築前やエントランスの広場舗装は、建築物との調和と部分補修の容易さからブロック舗装 (ILB、平板) を基本とする。
- ・遊び場や多目的広場の舗装は、足裏の感触の違いを楽しめるよう、人工芝、樹皮、真砂土、ゴムチップ等、裸足で駆け回れる柔らかい素材の舗装を複数設ける。
- ・駐車場等の車両通行頻度の高い箇所の舗装は、施工性や耐久性の高い密粒アスファルト舗装を基本とする。

建築と調和する広場舗装



ブロック舗装



ブロックの色調は、みどり豊かな公園イメージに調和する、淡い白・黄土系色を基本とし、検討を進める。

駐車場舗装



密粒アスファルト舗装

多目的広場は人工芝、臨時駐車場は芝生とする。(路盤厚のみ車両対応)

みどりに馴染む園路舗装

公園全体の統一感を出すため、園路は A ゾーン、B ゾーンともにみどりに馴染む自然色 AS 舗装とする。



自然色アスファルト舗装

足裏で楽しむ遊び場舗装

遊び場周りの舗装材には、クッション性のある舗装を複数種類設けることで、裸足で駆け回りながら、足裏の感覚の違いを楽しめるよう工夫する。



人工芝



木チップ舗装



ゴムチップ舗装

凡例

	ブロック舗装 規格：t60 ショットブラスト仕上げ		ブロック舗装 規格：t60 研磨仕上げ
	密粒アスファルト舗装 規格：40-200		自然色アスファルト舗装 規格：40-150
	人工芝 規格：下地 AS 充填材なし		人工芝 規格：下地 AS 充填材あり
	木チップ舗装 規格：t100		ゴムチップ舗装 規格：下地 AS t 10

※人研ぎ滑り台周辺は、土舗装等、クッション性ある舗装材を +2 種程度検討

植栽全体方針

- ・河内長野の豊かな森林に馴染む在来植生を基本に、高木を中心とした植栽計画とする。
- ・四季を彩り、果実や葉を楽しめる樹種により、一年を通じて五感で楽しめる樹木構成とする。
- ・敷地内の施設や周辺施設との関係性に考慮し、適切に緑の潤いと木陰を提供する配置とする。
- ・植栽樹種は、WS等を踏まえて地域住民の合意形成を図りながら選定を進める。

公園全体を象徴的に演出するカツラ並木

公園の南北には、A-Bゾーンを跨ぐ形で樹形と紅葉の美しいカツラを列植する。



カツラ (H=8.0m 内外)



並木イメージ

建築と公園を調和する緑陰樹

建築周辺には、駐車場の印象を緩和しながら木陰で人の居場所の生む、樹冠の大きな緑陰樹を植栽する。



ケヤキ (H=6.0m 内外)



エノキ (H=6.0m 内外)



ギボウシ

フィリヤブラン

幼児も楽しめるどんぐりの森

遊び場と隣接するエリアには、こども園との連携も見据え、どんぐりやおもしろい葉や実を楽しむ高木を植栽し、環境学習につなげる。

【候補樹種】



コナラ (H=4.0m 内外)



クヌギ (H=4.0m 内外)



クリ (H=4.0m 内外)



ハウチワカエデ (H=3.0m 内外)



ユリノキ (H=3.0m 内外)



シャシャンボ (H=2.0m 内外)

にぎわい広場に木陰を生むシンボルツリー

にぎわい広場には、緑陰樹として心地よい木陰を生み、市の木として地域に親しまれるクスノキを植栽する。



クスノキ (H=8.0m 内外)

※にぎわい広場の地被は、芝生を検討。
品種については、みどりの期間がながく、
踏圧に強い種を選定中。

一年を通じて、花色・葉色を楽しめる雑木エリア

敷地外周部には、一年中様々な葉・花・実の彩りを楽しむ高木を植栽する。敷地内外の見通し確保のため、葉の密度の比較的な粗な樹種、樹形の雑木を中心とする。常緑落葉を踏まえた植栽配置は、周辺への影響を考慮した配置とする。

【候補樹種】



ソヨゴ (H=3.0m 内外)



ヤマザクラ (H=3.0m 内外)



ヤマボウシ (H=3.0m 内外)



ヒメシャラ (H=3.0m 内外)



サルスベリ (H=3.0m 内外)



ハイノキ (H=2.0m 内外)

雨水排水方針

- 敷地への雨水を活用し、公園利用者の憩いの場となる水辺への快適な環境形成を図る。
- 砂利側溝や暗渠管による排水を中心に、排水施設が公園景観に馴染む計画とする。
- 建築屋根排水は一部貯留することで、花壇やみんなの畑への散水に活用する。

風景に馴染む自然型の排水施設

公園全体のみどりの風景に馴染むよう、自然物を活用した砂利側溝や、地盤下で排水を促す暗渠排水管による排水を中心とする。



砂利側溝



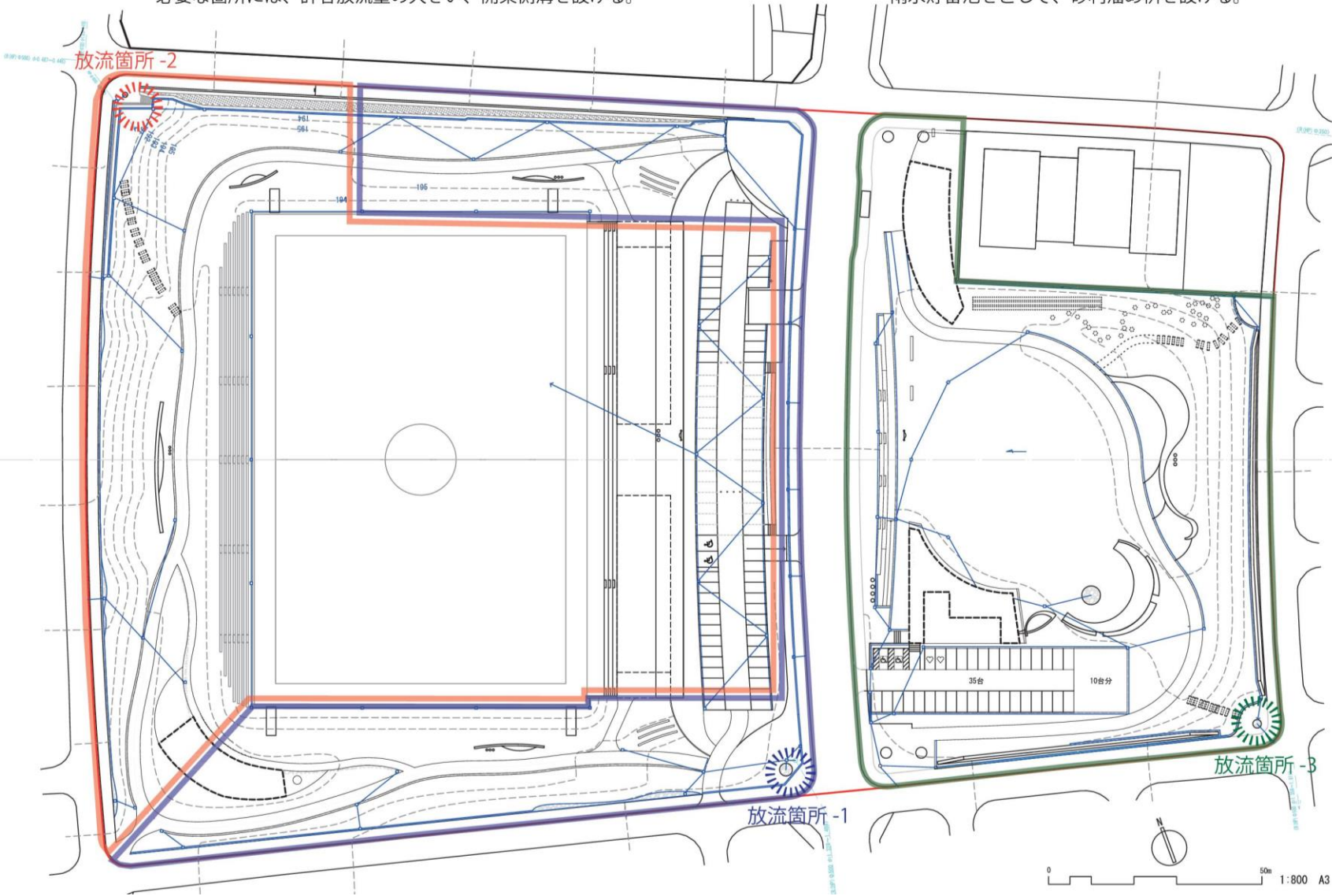
暗渠排水管



砂利溜め樹

※景観上目立たない箇所、安全上十分な排水量の確保が必要な箇所には、許容放流量の大きい、開渠側溝を設ける。

※南側の放流最終樹近くには、小規模の雨水貯留池として、砂利溜め樹を設ける。



定量的根拠に基づく確かな排水計画

河内長野市で発行されている、排水に関する基準書を基に、十分に排水能力を確保しつつ排水できる計画とする。
なお、安全を考慮し、左記の各流出抑制施設を計算に換算せず、すべての表面排水雨水量を排水可能な設計とする。

＜雨水放流量の算出＞

※基準書：「河内長野市開発事業の手続等に関する条例施行基準」より

合理式より、雨水放流量を算定する。

$$Q = 1/360 * C * R * A$$

Q：雨水流出量 (m³ / sec)

C：流出係数 0.9

R：降雨強度 90 (mm / hr)

A：排水面積 (ha)

＜雨水排水施設の規格設定＞

マンニング公式により許容流量を算出する。

$$Q' = V * WA$$

$$V = (1/n) * R^{2/3} * I^{1/2}$$

Q'：許容流量 (m³ / sec)

V：流速 (m/S)

WA：流水面積 (m²)

n：粗度係数

WP：潤辺長 (m)

R：径深 (WA/WP)m

I：管内勾配

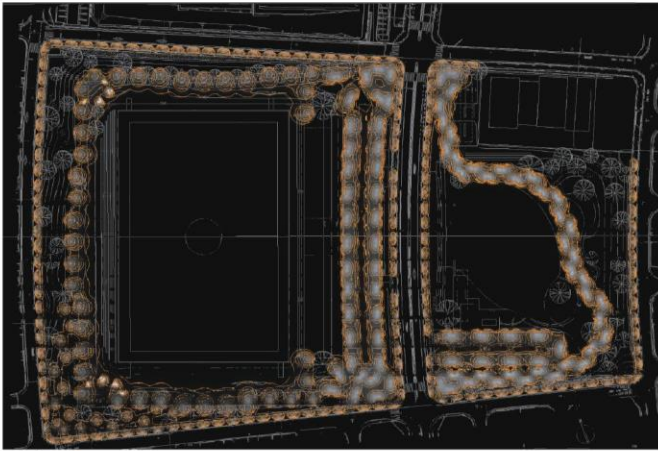
※排水管は、安全を考慮し、 $Q * 1.2 < Q'$ となるよう管種、管径、勾配を設定する。

マンニングの粗度係数 n

水路の形式	水路の状況	nの範囲	nの標準値
カルバート	現場打ちコンクリート		0.015
	コンクリート管		0.013
	コルゲートメタル管 (1形)		0.024
	コルゲートメタル管 (2形)		0.033
ライニングした水路	塩化ビニル管		0.012
	塩化ビニル管		0.010
	コンクリート2次製品		0.013
	鋼、塗装なし、平滑	0.011～0.014	0.012
	モルタル	0.011～0.015	0.013
	木、かんな仕上げ	0.012～0.018	0.015
	コンクリート、コテ仕上げ	0.011～0.015	0.015
	コンクリート、底面砂利	0.015～0.020	0.017

電気設備全体方針

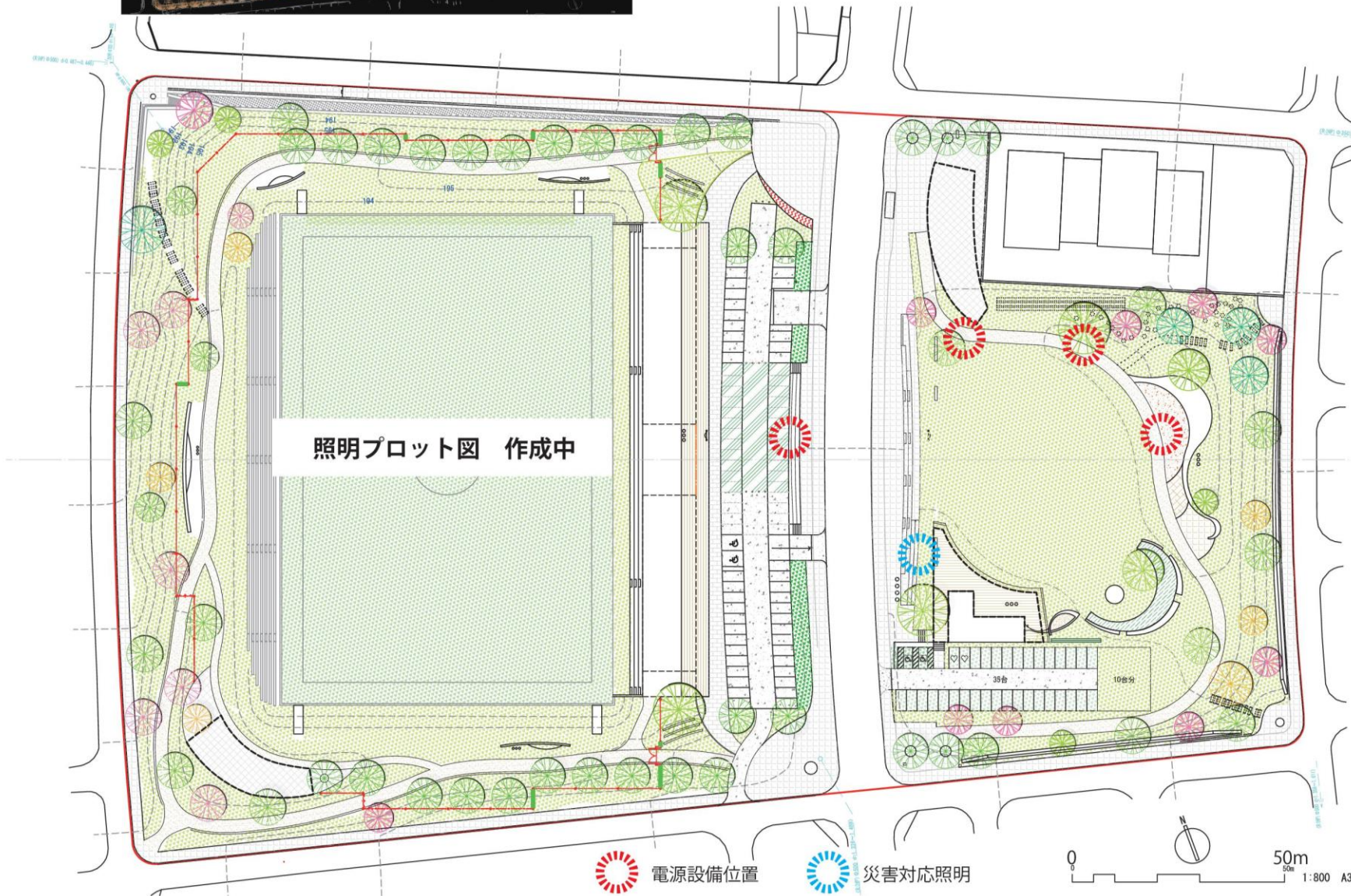
- ・使用する照明灯具はLEDを基本とし、園路・広場部は平均3ルクス以上を確保することで、夜間でもやさしい照明で安全安心に公園利用ができる計画とする。
- ・周辺住宅地への影響を考慮し、公園照明が光害とならないよう配置、配光に配慮する。
- ・安全安心の照明の他、象徴的な樹木やエントランスには、ライトアップ照明による演出を行う。
- ・にぎわい施設周辺には、太陽電池式照明（非常電源付）を設置し、災害時の利便性を図る。
- ・にぎわい広場、多目的広場周辺には、イベントにも利用可能な電源設備を設ける、利便性を図る。



照度条件

- ・園路等の舗装部は3ルクス以上の照度を確保
- ・Bゾーンは13m間隔でハイポール灯を設置
- ・トイレ周辺は50ルクス程度の光溜まりを確保
- ・中央の車道は、既設照明を存置。
- ・外周歩道には、ボラード灯を1ルクス以上の照度を保てる間隔で設置

こども園周辺は、今後協議しつつ検討を進める。



園路・広場をやさしく照らす公園灯

園路を照らす照明灯には、他に照度が漏れないスポットタイプのハイポール灯を配置する。安全安心の為に照度が必要な箇所には、ローポール照明を配置する。

【照明イメージ】



ハイポール灯



ローポール灯

※Aゾーンのハイポール灯は、ポールを防球ネット柱と兼用する。

シンボルツリーのライトアップ

建築周辺や遊び場のシンボルツリーには、象徴的に演出する照明として、足元から枝葉を照らすライトアップ照明を施す。

【照明イメージ】



イベント等に活用可能な電源設備

イベント等で活用可能な鍵付きの電源設備を意匠上目立たない設えで複数配置する。また、Bゾーンには、太陽電池式照明（非常電源付）を1基設置する。

【電源設備イメージ】



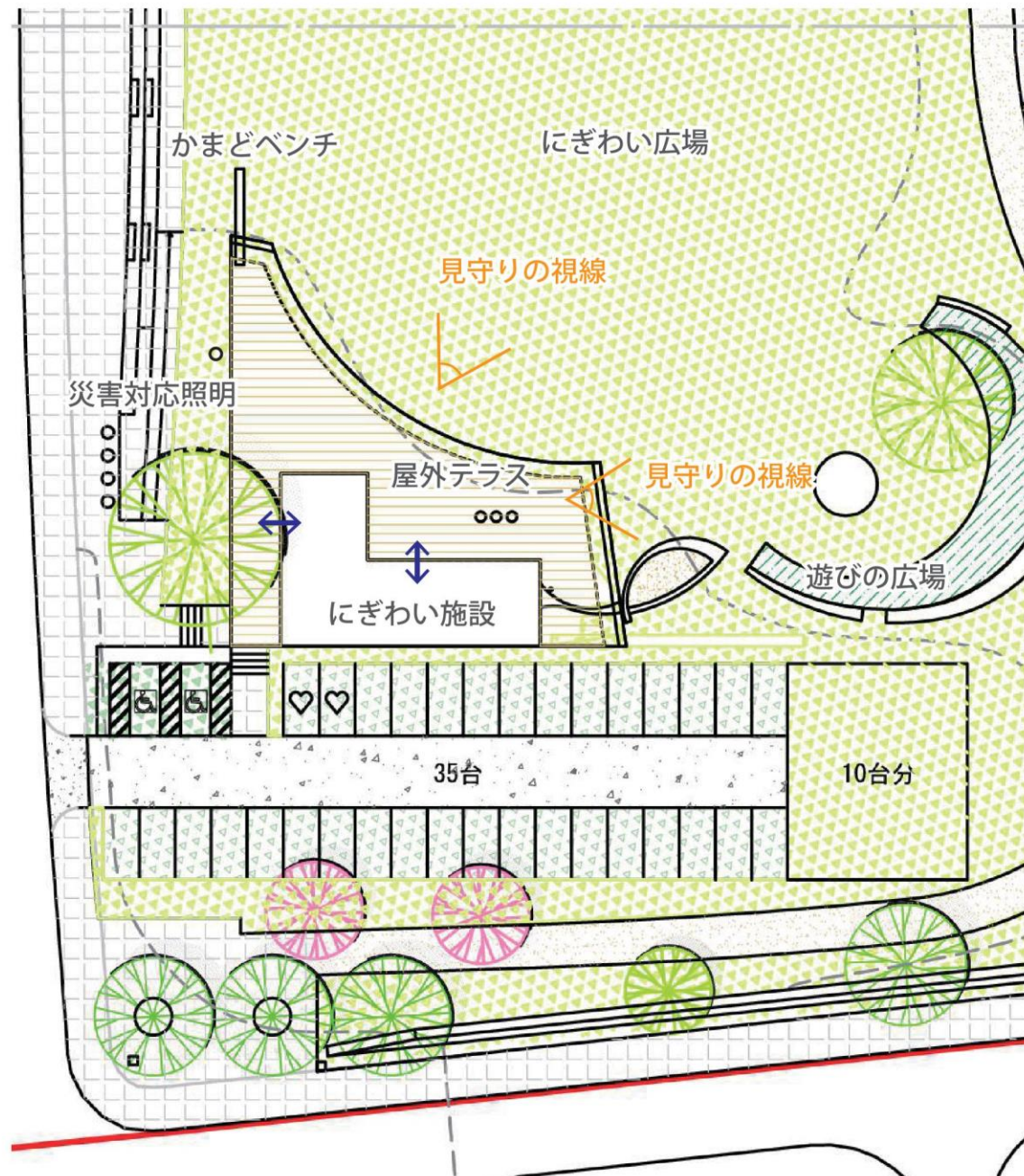
【災害対応照明イメージ】



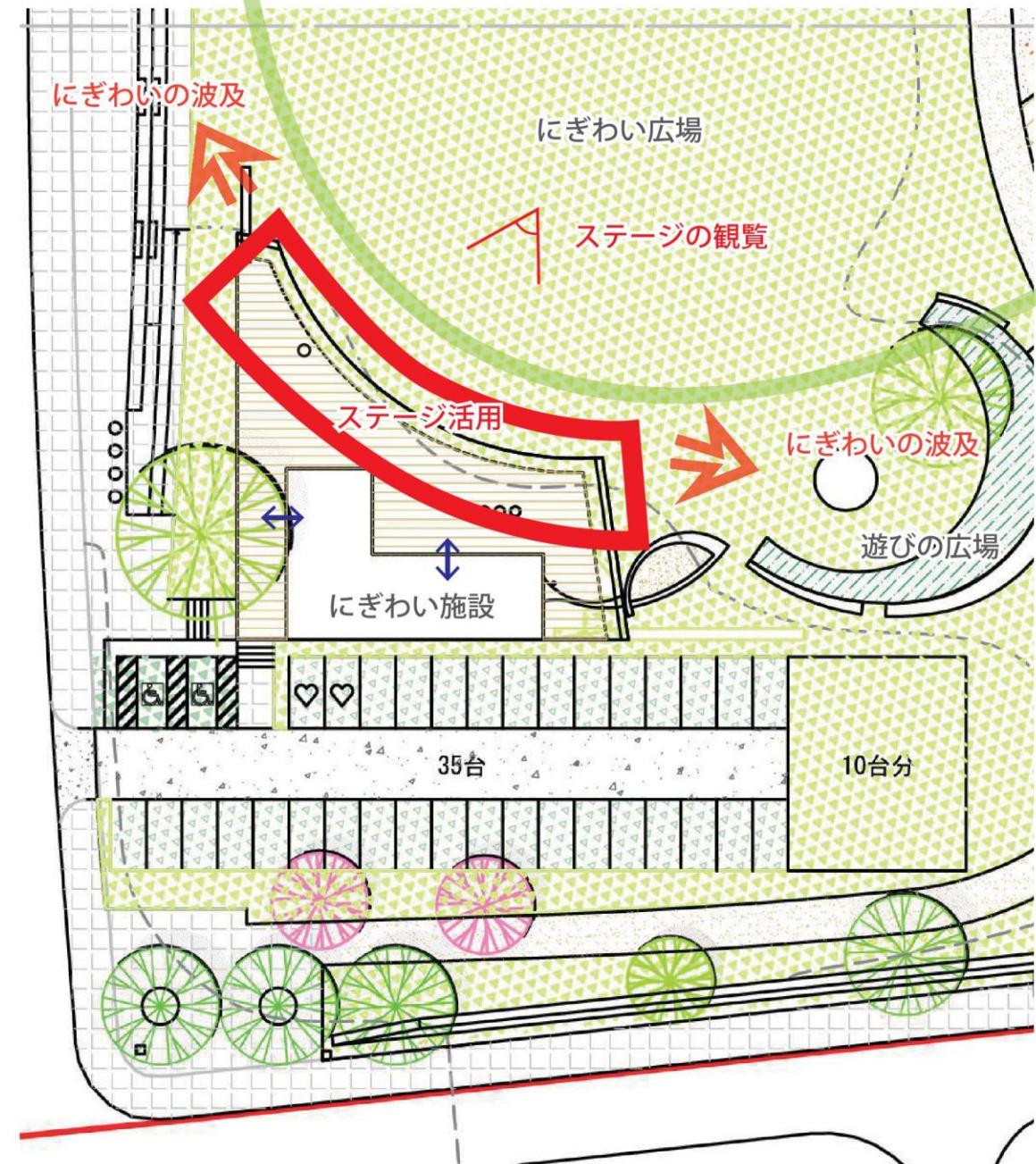
※ソーラーパネル一体型

にぎわい施設・テラス計画

- ・日常的には、にぎわい施設の屋外テラスとして利用でき、テラス利用がにぎわい広場、遊び場への見守りの視線となる。
- ・イベント時には、テラスの一部がステージとして活用できる（メイン・サブ合わせて複合的なイベントに対応可能）。
ステージは、にぎわい施設利用を阻害することなく、にぎわい広場や東側園路から視線の通る位置に設置する。

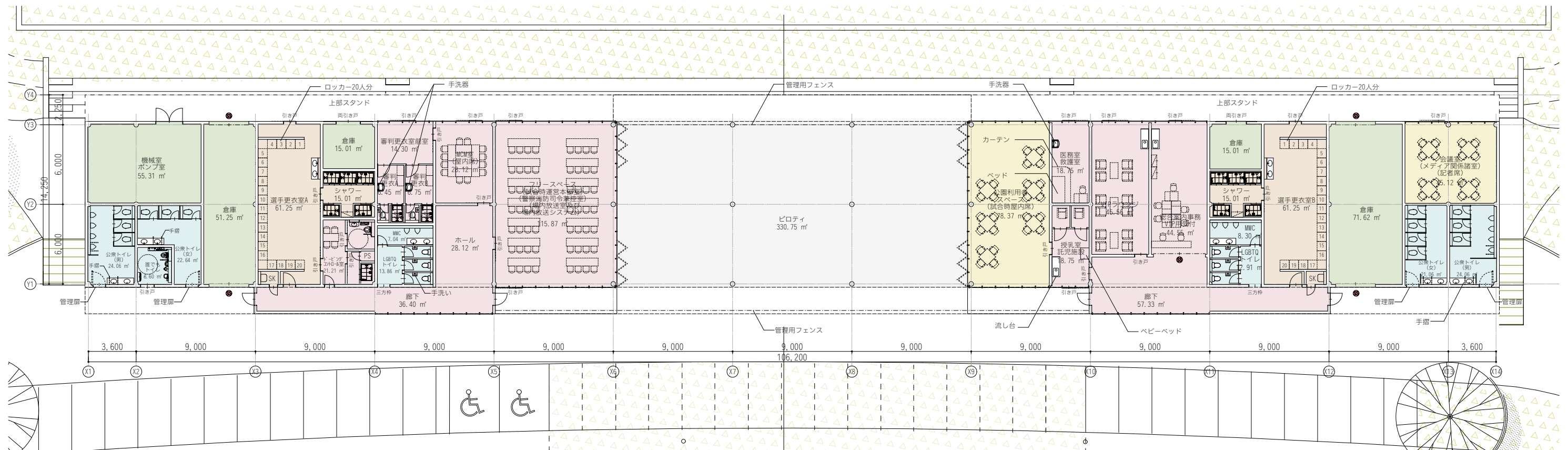


日常利用



イベント利用

■平面図 S:1/300



平面図（増築前・なでしこ基準）

● トイレ計画

- ・休憩所を兼ねた明るく開放的なトイレ
- ・花びらをモチーフとした曲面形状の大屋根
- ・クラブハウスや広場形状と一体的な曲線のデザイン
- ・園路に面してベンチを設置

・ 必要器具数算定

<興業場法>

$$35 \text{ 個} + \{(610 \text{ m}^2 - 600 \text{ m}^2) \div 30 \text{ m}^2\} \approx 36 \text{ 個}$$

<公園設計マニュアル>

$$\begin{aligned} &\text{同時滞在者} \times \text{便所利用率} \\ &= 1,500 \text{ 人} \times 1/30 \sim 1/70 = 21 \sim \mathbf{50 \text{ 個}} \end{aligned}$$

$$\begin{aligned} &\text{※公園同時滞在者} = \text{日利用者数} \times \text{回転率} \\ &= 1,000 \text{ 人} \times 1/2 = 500 \text{ 人} \\ &\text{スタジアム同時滞在者} = 1,000 \text{ 人} \\ &\text{※座席数 } 1,000 \text{ 席分で算定} \end{aligned}$$

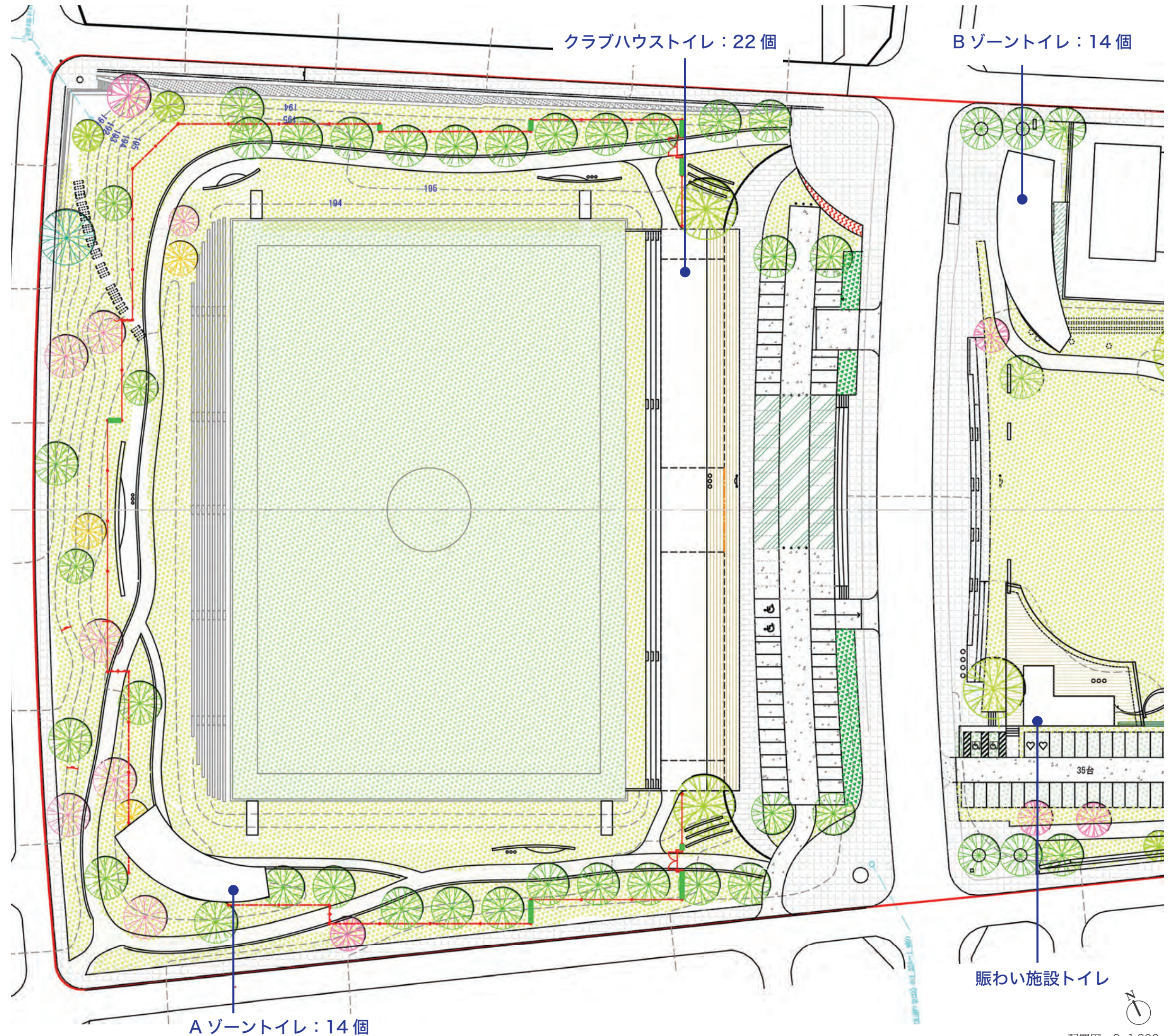
⇒クラブハウストイレ : 22 個
Aゾーントイレ : 14 個
Bゾーントイレ : 14 個 …計 50 個



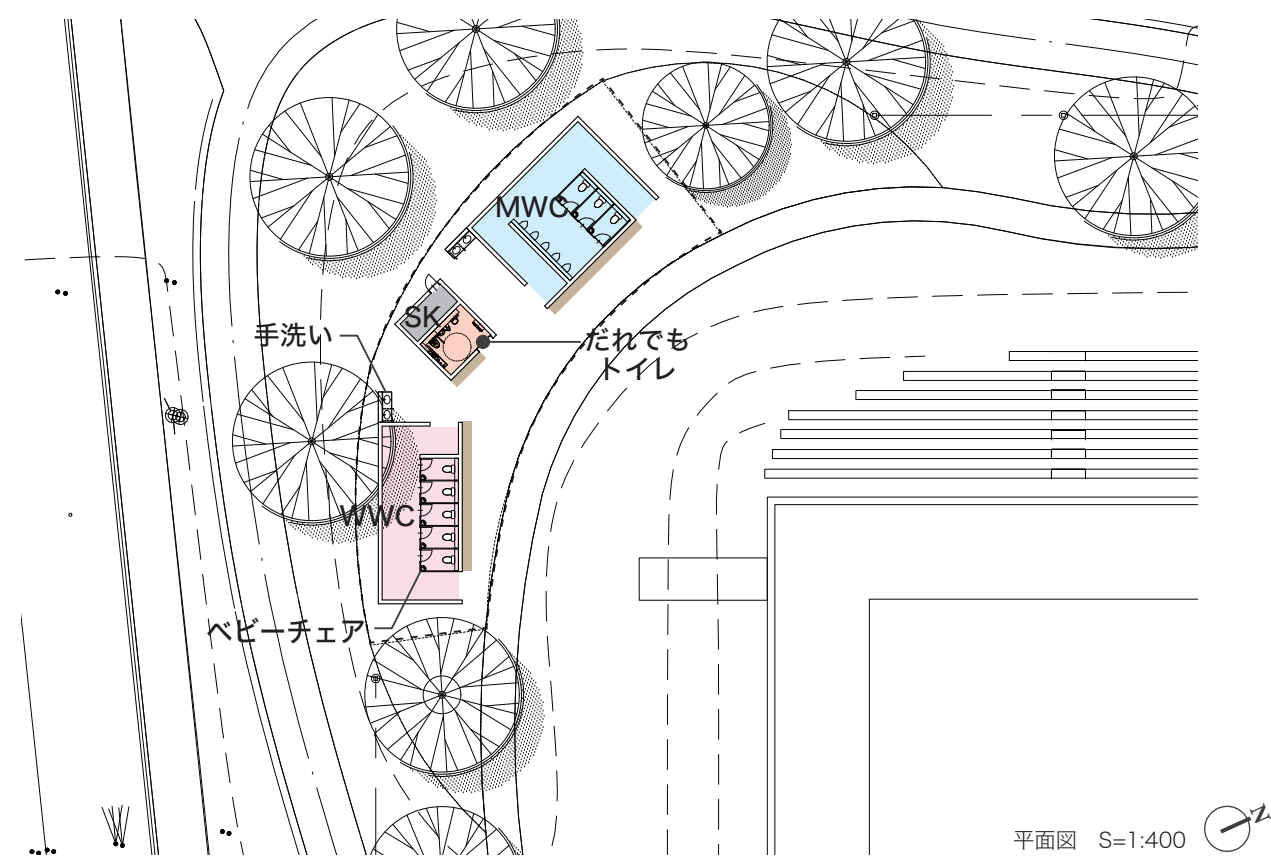
江北町みんなの公園 (佐賀県)



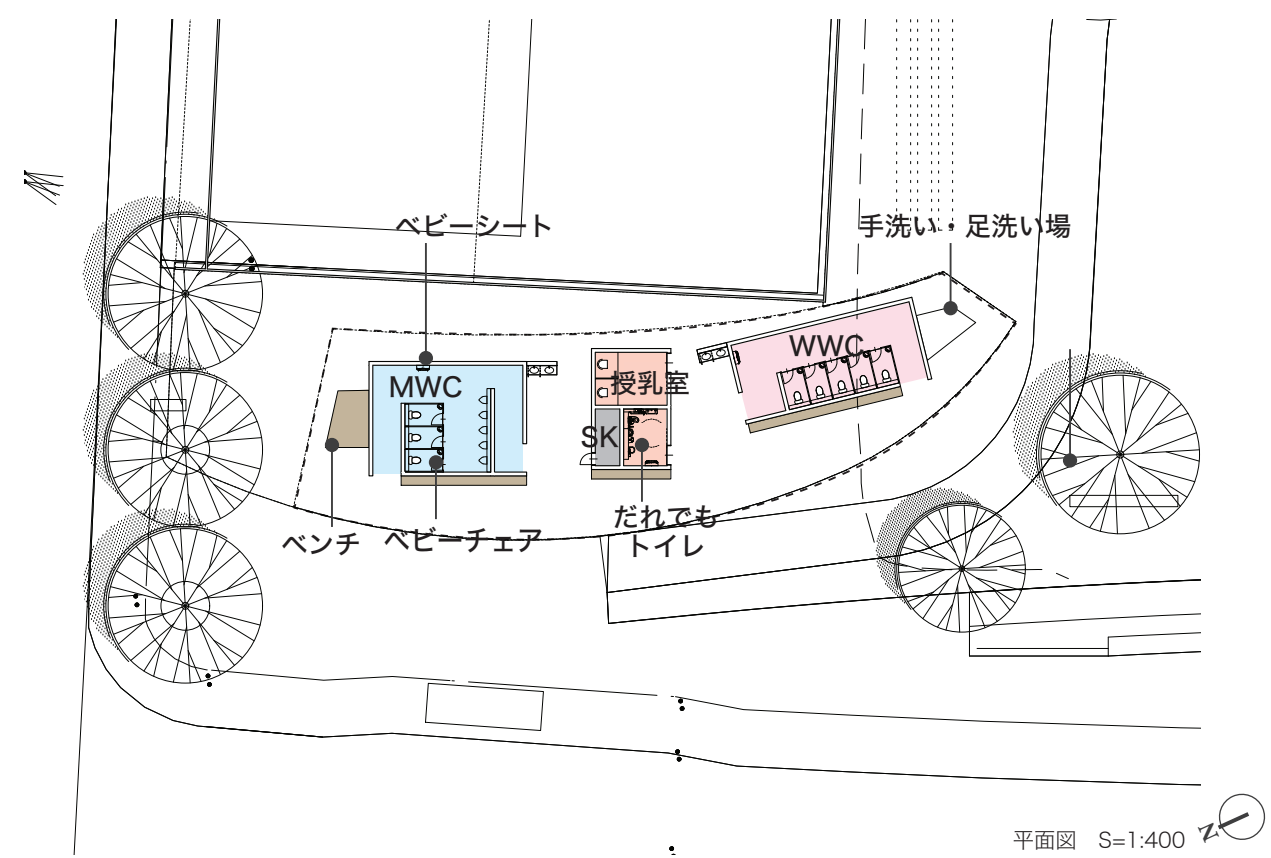
大阪城レストハウス (大阪府)



A ゾーントイレ : トイレ + だれでもトイレ (計 14 個)



B ゾーントイレ : トイレ + だれでもトイレ + 授乳室 (計 14 個)



全体イメージ

